

● 予算委員会

審査の結果、令和3年度勝山市一般会計補正予算(第3号)を可決しました。

◆ 空き家管理代行サービスに対して助成を

相続等で市外にいながら空き家を所有している方が利用できる補助サービスを、市内の民間企業が行っています。

現在、空き家は市内に500軒ありますが、サービス利用者は1名だけです。環境整備の観点から、空き家周辺の草刈等は市職員が行っていますが、それも限界に来ており、サービスの利用を促す助成を行いたいとの説明がありました。

委員からは、「不慮の事故で管理ができなくなった方は対象にならないことから、そちらの補助制度も考えるべき。」「空き家利用の促進を図る根本的な解決法を考えていくべき。」との意見がありました。

◆ 除雪車をGPSで管理するシステムの導入

GPSを市が管理して、各除雪区域の状況を随時に判断し、除雪車運用の効率化を図ります。福井から大野までの幹線道路の状況も共有することができ、降雪時の市外への通勤や物資の流通にも寄与すると説明がありました。

委員からは、今年、まちなかに除雪車が入って行けず、車2台が3日間立ち往生したことがあったが、そういう事態に陥るようなことの無いよう、昼間の市内への運用にももっと目を向けて取り組むようにとの意見がありました。



◆ 新型コロナワクチン接種対策事業

これまでのワクチン接種事業を踏まえ、今後の広報のあり方について質疑がありました。

委員: ワクチン接種は任意であるから、その判断にかかる情報は、メリット、デメリットの両方を理解して判断できるよう努めなければならない。また子どものワクチン接種に不安を持つ親御さんからの言葉も多く届いており、その配慮も必要だ。

理事者: いただいた意見を参考に、現在、ホームページの情報量を増やして掲載している。

委員: 見解の違いから、家庭内で接種済みの方と未接種の方の^{あつれき}軋轢もでている。ネットを利用できる世代だけの問題ではない。紙面で概要を載せ、詳しい内容はネットを利用する等の工夫が必要だ。

◆ 指定管理料(債務負担行為補正)

勝山市ジオターミナル、勝山市道の駅「恐竜渓谷かつやま」、はたや記念館「ゆめおーれ勝山」の指定管理料における債務負担行為補正について、理事者から今までの指定管理料の実績や積算が示されました。

委員からは、数年コロナ感染の影響で、観光客などの減が続くと予想されることもあり、指定管理料の見直しを含め、施設によっては以前の直営方式に戻すなど、指定管理制度を使うことの妥当性など再精査する必要があるのではとの活発な議論が交わされました。

(債務負担行為については、過去の議会だよりをご覧ください。)



議会だより 第77号